

【様式第4号】

令和 年度 第2回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 全体会(総会) 議事録	
日時	令和 7年 10月 7日 (火) 14:00 ~ 16:30
開催場所	保土ヶ谷公会堂 1号会議室
出席者	名簿に記載 (65名)
欠席者	4名
開催形態	公開(傍聴人: 名)・非公開
議 題	<p>(司会進行) 保土ヶ谷区基幹相談支援センター 遠藤</p> <p>はじめに:開催趣旨・タイムスケジュール等の確認 遠藤 / 14:00~14:05</p> <p>1.挨拶 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会代表 夢21上星川 石田氏 /14:05~14:10</p> <p>2.各部会より R7年度中間活動報告 (各部会3分×12) /14:10~15:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会長等から資料に基づき説明 ・各部会の補足説明 <p><事務局会議></p> <p>今年は特に区民まつり、区制100周年を中心に取り組んでいる。子ども家庭支援課の方にも事務局参加してもらっている。</p> <p><全体会・担当者会></p> <p>6月に担当者会議1回目を行って地域の連携や部会のコラボレーションについて話し合った。担当者会議の議事録の詳細はホームページに記載。</p> <p><地域支えあい研修></p> <p>1回目の支え合い研修7/16に行われた。13事業所から44名の参加。アンケート結果はホームページに記載。2回目は高齢の方々が増えているということで、ケアプラザさんからご教授してもらう予定。</p> <p><精神 net></p> <p>主に事例検討を行っている。上手くいった事例を共有し、笑顔が多く、いい機会だった。データ上の数値と事例と意見を合わせてAIを活用したところ、支援者が疲れているということが挙がっていた。支援者支援が地域課題の大事なところではないかと考え、後期に活かしていきたい。</p> <p><ほっとらんど></p> <p>月1回事務局会議を行っている。6月に15名で実行委員会を行った。コロナ禍以降は客足が減っているが、開催日数を増やしたり、料金を下げたりして工夫している。11月に西谷地区センターの文化祭に参加予定。</p> <p><自主製品販売部会></p> <p>6月と9月に参加事業所が各1事業所ずつ増え、ビジネスパークで販売を行えるようになった。売り残りが課題である。イオンでの販売では9月から販売の場所が2階に変更になり、売り上げが心配である。ビジネスパークでの売り上げが伸びず、周知が課題である。ケアプラザでも、イベントが土日であり、なかなか販売できないという問題がある。</p> <p><当事者活動支援部会></p> <p>6月に茶話会を行った。今回、当事者活動支援部会として区制100周年に参加。</p>

<防災部会>

被害地障害者センターの啓発を中心に行っている。今年はたちばな会と区民まつりでセンターの説明と啓発を行う予定。センターの説明や研修は随時行っていく。

<まちで暮らすネットワーク～地域生活支援部会～>

6月と9月に事例検討、短期入所事業所の情報交換会、グループホーム交流会を行った。強度行動障害の方の支援についてのワーキンググループを立ち上げている。発達障害者支援センターの方に来てもらい、意見をもらえ良かった。

<相談支援部会>

10/24の勉強会が11/28に変更。今年はグループスーパービジョンを中心に行った。支援者支援としていい機会となった。複数事業所の共同体制は、スムーズにできていて、他の事業所からも興味があるという声が挙がっている。地域体制強化共同支援加算を算定する際のガイドラインを作成し、他区から参考にさせて欲しいということで共有している。

<子ども部会>

6月に交流会を行った。27名参加。保土ヶ谷区の冊子の作成を目標に取り組んでいる。9月の勉強会が中止となった。12月に勉強会、2月に振り返り予定

<障害福祉のお仕事フェア>

お仕事フェアについて、全11事業所で令和7年度は3/8に行う予定。例年50～60名だったが、去年は38名で、参加者が減ってしまった。特に学生は1名で、若年層に知ってもらうための工夫を考えている。令和8年度は7/5予定。

3. 区制100周年 動画作成について ほどがや希望の家 早坂氏

/15:00～15:10

・スライドに基づき説明

4. 保土ヶ谷区障害者権利条約一斉アクションについて 夢21上星川 石田氏

/15:10～15:20

・資料に基づき説明

5. グループワーク /15:20～16:00

【テーマ① 各事業所における地域に向けた（共同している）取り組み】

【テーマ② 地域連携において、成果や課題と感じていること】

※詳細はシート参照

6. 発表（いくつかのグループ） /16:00～16:15

<1グループ>

傾聴ボランティアの方々と一緒に行う活動について協議中。実習先、福祉体験や福祉教育をお願いしている。課題として、繋ぐ役割の人がいないこと。

<9グループ>

地域に向けた取り組みとして、清掃、個展、お祭りやケアプラザの活動に参加。地域の人に認知される一方で、ネガティブなことも連絡がある。人が変わると途絶えてしまう。

<6グループ>

地域に向けた取り組みとして地域に向けた取り組みとして支援者がお客として地域のお店に伺ったり、お祭りに参加したりしている。障害がある方への理解が少ない。グループホー

ムでは地域住民の反対が今もある。

<4グループ>

地域に向けた取り組みとして、団地での高齢化や人手不足であり、草刈りや、買い物支援、配食サービス等している。お祭りに積極的に参加。グループホームでは地域連携推進会議にて知ってもらう機会に。

7. その他 情報提供等 /16:15~16:25

- ・グループホーム情報集約について ご協力をお願い 保土ヶ谷区基幹 田村氏より

※資料に基づき説明

- ・親なき後のお金の活かし方勉強会について 保土ヶ谷区基幹 田村氏より

※資料に基づき説明

- ・保土ヶ谷ほっとなまちづくりについて 保土ヶ谷区社会福祉協議会 村瀬氏より

※資料に基づき説明

- ・保土ヶ谷区・西区合同人権啓発講演会について

保土ヶ谷区役所 高齢・障害支援課 障害担当係長 小堀氏より

※資料に基づき説明

- ・書籍「神奈川の障害者当事者運動を振り返って脳性マヒの立場から」について

夢21上星川 谷口氏より

※資料に基づき説明

- ・横浜訓盲学院のバザーについて 横浜訓盲学院 鈴木先生より

※資料に基づき説明

※詳細は HP にて

8. まとめ 保土ヶ谷区役所 高齢・障害支援課 障害担当係長 小堀氏より

/16:25~16:30

- ・部会報告だけではなく、区制100周年、権利条約一斉アクション等、いろいろな活動を共有できて有意義だった。
- ・地域連携ということグループワークで共有できて良かった。
- ・人材不足は福祉業界全体の問題であり、人材確保、人材育成、そして定着が今後の課題である。

閉会

※次回の全体会は令和8年5月